



市の鳥・シジュウカラ

▼福生市3月の主なイベント▼

2日(土)	土井善晴講演会
3日(日)	東日本大震災復興支援チャリティ ー名曲コンサート2013 in 福生
9日(土)	第4回児童・生徒による音楽のまち づくりコンサート2013

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事 **2面**市の方針(案)等についての市民意見の概要とそれに対する考え方について公表します **4面**民踊パレード参加団体募集
5面自殺防止! 東京キャンペーン **6面**桜ハイキング参加者募集 **7面**国体NaVi **8面**福生市青少年海外派遣生募集

地震から身を守ろう

～東日本大震災から2年～

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、震源地から遠い東京都内でも多くの被害がありました。

地震が起きたときは、何よりも自分の命を守ること、そしてけがをしないことが大切です。緊急地震速報を受けたり、地震の揺れを感じたりしたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう。

【問合せ】福生消防署予防課 ☎ 552・0119



建物が大丈夫でも

室内は家具が転倒!

[写真提供: 東京消防庁]

地震その時10のポイント

- 地震時の行動
 - 1 地震だ! まず身の安全
 - 2 落ちついて 火の元確認 初期消火
 - 3 あわてた行動 けがのもと
 - 4 窓や戸を開け 出口を確保
 - 5 門や扉には 近寄らない
- 地震直後の行動
 - 6 火災や津波 確かな避難
 - 7 正しい情報 確かな行動
- 地震後の行動
 - 8 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否
 - 9 協力し合って 救出・救護
 - 10 避難の前に 安全確認 電気・ガス



福生消防少年団員募集!!

～私たちと一緒に活動してみませんか!～

福生消防少年団では、一緒に活動する団員を募集しています。

【消防少年団とは】防火・防災に関する知識・技術を身につけるとともに、規律ある団体活動や奉仕活動などを通じて、社会の基本的なルールをきちんと守り、思いやりの心を持った責任感のある大人に育つよう、日々の活動に取り組んでいます。

【活動内容】月1～2回程度の活動で、消防の仕事や火災予防について学んだり、初期消火訓練、応急救護訓練を実施しています。また、地域のお祭りでのパレードや老人ホーム訪問など、鼓笛演奏を通じて、防火防災思想を普及する社会活動にも参加しています。そのほか、キャンプやクリスマス会などの楽しい団体活動もあります。

【対象】福生市・羽村市・瑞穂町在住の新小学3年生～新中学3年生までの男女

【募集期間】随時、福生消防署で受け付けしています。

【問合せ】福生消防署警防課防災安全係 ☎ 552・0119



4月以降の時間外開庁について

節電への協力のため、時間外開庁窓口業務を引き続き一部縮小して実施します。実施部署は右表のとおりです。

なお、4月から、時間外開庁日が祝日の場合には、水・土曜日ともに閉庁とさせていただきますので、窓口ご利用の際にはご注意ください。

市では、引き続き節電に努めていきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】企画調整課企画調整担当 ☎ 551・1528

〈時間外開庁実施曜日及び時間〉

- 水曜日・午後5時15分～8時
- 土曜日・午前8時30分～午後5時15分(正午～午後1時を除く)

〈時間外開庁実施部署〉

部	課	係	場所
総務部	安全安心まちづくり課	防災係	市役所第一棟2階
		地域安全係	
市民部	総合窓口課	総合窓口係	市役所1階
		課税課	
	収納課	市民税係	
		資産税係	
	収納係		
保険年金課	保険年金係		
		後期高齢医療係	

部	課	係	場所
福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当	市役所1階
		生活福祉係	
	障害福祉課	障害福祉係	
		介護福祉課	
健康課	高齢福祉係	保健センター	
	介護保険係		
子ども家庭部	子ども育成課	子ども育成係	市役所1階
		保育係	
	子育て支援課	子育て支援係	
教育委員会事務局	会計課	会計係	市役所1階
	指導室	学務・指導係	

※一部取り扱えない業務がありますので、事前に各担当へお問い合わせください。

忘れてはいけないこと
東日本大震災から間もなく2年の月日が経とうとしていきます。先月の初めに、福島を訪れたのは今回で10回目ですが、復興の進みに地域差が現れてきていると感じています。被災地には、当時の行政としての住民への対応、ボランティアの人たちとの連携方法、想定外をなくすために必要な備えなど、さまざまな話に耳を傾けねばと足を運びました。その中で出会ったのが『ひまわりのおか』という絵本です。

この絵本は、津波の被害で児童74名が死亡・行方不明となった宮城県石巻市の大川小学校のお話です。わが子を亡くしたお母さん方が、子どもたちが避難しようとする目指した丘にひまわりの種を植え、すくすくと成長するひまわりの姿にそれぞれの子どもへの想いを重ねて書いた手紙や話を、もとに生きたものです。大震災は終わっていないということを感じさせられました。

去る1月17日で阪神・淡路大震災から18年になりました。大変残念なことではありますが、時の流れとともにその直後の悲しみや恐怖心、日ごろの備えが大切だと思ったり、風化しつつあるように感じられてなりません。この二つの大震災を決して過去のものにしてはならないのです。

全力投球



福生市長 加藤育男
消防ポンプ自動車引渡式にて